

海の人材育成に関する国際シンポジウム

2016年7月19日～20日 | 日本・東京

セッション6： 分野横断的な教育・トレーニング

Photo credit: Nick Hall

Pescadero プログラム：メキシコ北西部での海洋保護分野の強化

メキシコ北西部

1) 当プロジェクトの主眼点

2014年に開始された Pescadero プログラムは、研修、指導、リーダーシップ開発、および学習のプロジェクトを統合する包括的な能力開発プログラムを通じて、メキシコ北西部における市民社会団体の組織の能力とリーダーシップ能力を強化することを目的としている。

Jacques Cousteau は、サンゴ礁に生息する魚類、サメ、クジラ、ウミガメ、およびガシラネズミイルカ（世界最小のネズミイルカ）を含むカリフォルニア湾の驚くべき生物多様性のために、この地域を「世界の水族館」と呼んだ。しかし、残念ながら、乱獲、密漁、沿岸開発、およびその他の採取産業が、この地域の回復力を脅かし、多くの種は絶滅の危機に瀕している。

2) 参加組織その他のパートナー

Pescadero プログラムは、10年以上にわたってこの地域の海洋保護の問題に取り組んできた市民社会団体（CSO）と援助資金提供者間の一連の話し合いから生じた。これは大きな成功を収めたが、CSO と援助資金提供者はいずれも、引き続き大きく前進するために、この地域の CSO の回復力を強化する必要があることを認識した。この点を考慮に入れて、5つの資金提供組織（David and Lucile Packard Foundation、Helmsley Trust、Marisla Foundation、Sandler Family Foundation、および Walton Family Foundation）が、最も緊急性の高い CSO 能力開発のニーズに対応するために、複数年にわたるプログラムの実施を支援することを提案した。

このプログラムは、1994年に設立された独立非営利組織であるメキシコ自然保護基金（FMCN）の監督の下で、北西部基金（FONNOR）によって管理されている。FMCN の使命は、メキシコの生物多様性の保護および持続可能な利用に対する取り組みを支援し、強化することである。2013年に、FMCN は、地域基金 FONNOR の設立を支援した。

3) 能力開発において効果が証明された活動やツール

5年間の取り組みでは、次の5つの能力開発が優先された。1) 組織のガバナンス、運営、および管理の強化。2) 中間管理職および上級リーダーのリーダーシップ能力の向上。3) 長期プログラムの持続可能性を目的とする収益の多角化の推進。4) 強力なコミュニケーション戦略と広報戦略を通じたセクター内での位置付けの向上。5) 各組織の使命、目標、およびプログラムを定義し、プログラムの評価を支援する明確な戦略的計画。

Pescadero プログラムでは、パーソナライズされる専門家の支援とワークショップを通じて、能力開発のバランスを取っている。このモデルでは、トピックの基本的知識を伝えるために、すべての

Pescadero プログラムの CSO に対して公開ワークショップが提供され、これに続いて研修で学習したコンセプトを適用するために、主な組織に対して一対一の指導が行われる。Pescadero プログラムのスタッフは、個別の状況に合わせた支援のニーズと、組織間での指導および情報交換の機会を把握することに努めている。

このプログラムの中心的な目的は、長期的な持続可能性を確保し、この地域の貴重な海洋天然資源の保護および持続可能な利用に影響を及ぼす意思決定においてより効果的な役割を果たすために、CSO の影響力を強化することである。各 CSO には、今日までの発展を継続するために、堅牢な制度が必要である。現在、バハ・カリフォルニア、バハ・カリフォルニア・スル、ナヤリト、シナロア、およびソノーラ（地図を参照）を含む各州から 28 の CSO がプログラムに参加している。これらの現地および地域の CSO は、海洋保護の問題に対する意識および公衆の関心を高め、説明責任を要求し、持続不可能な沿岸開発から公益および環境上の価値を保護し、天然資源の管理の改善において現地コミュニティを支援するために、基本的な役割を果たしてきた。さらに 22 の現地 CSO（合計で 50 になる）が、1 つ以上のワークショップに参加した。

制度有効性指標（IEI）と呼ばれるオンライン組織自己評価ツールが、組織のニーズを評価し、個々の組織に対してパーソナライズされる能力開発支援を調整し、総計レベルでこの地域における海洋保護セクターの影響力の向上を測定するために使用される。IEI は、CSO が自らの能力を診断し、改善の必要な領域を特定するために役立つ。

プログラムの介入の結果として、組織の構造と、より意識的な制度の設計および計画に関して変化が生じた。一般に、CSO は能力開発に優先順位を付けている。調査、意見、および報告を通じて、以下の結果が確認された。

- CSO は、資金調達とコミュニケーションの戦略を設計するためのツールと知識を獲得した。この戦略には、見過ごされがちな主要な関係者およびセクターとともに、非従来型の戦略が組み込まれている。
- CSO の事務局長と管理スタッフは、現在、関連する管理、法律、および人材の課題に関する知識を備えており、これらの課題に対応するために要求される措置を講じるために必要な能力を獲得した。
- CSO は、特に理事会の管理に関して、組織のガバナンスを改善するために、エグゼクティブ・レベルでスキルと能力を獲得した。
- 個人レベルにおいて、組織は、リーダーシップ研修を通じて知識を獲得し、リーダーシップ・スキルを開発した中間管理職および上級役員を有する。CSO のリーダーは、組織の内外で、リーダーとしての自らの役割に対する自信を高め、自らのリーダーシップ・スタイルと、それが組織およびコミュニティに及ぼす影響をこれまで以上に認識している。

4) 特に、継続的に能力開発に取り組むことおよび／または同様のプロジェクトを他の地域で展開することに関連して経験した困難な課題

大規模な団体は、小規模な組織に比べてあまり積極的に参加しなかったが、ほとんどの組織は、Pescadero プログラムの支援を歓迎した。一般に、10 の組織グループが、能力の向上に関して最も進展を遂げた。このような CSO はすべて、一対一のコンサルテーションを受け、ほとんどの場合、それぞれの理事および／または理事会の役員が、プログラムの活動に積極的に参加している。

5 年間にわたって能力開発の複数の側面に重点を置いている Pescadero プログラムは、多くはまだ小規模で未開発なメキシコの自然保護 CSO に対して固有なビジョンを示す。しかし、能力開発を測定することは難しく、この取り組みを具体的な自然保護への影響に関連付けることは困難である。調査およ

び寄せられた意見により、このプログラムが多くの CSO にプラスの影響を及ぼしていることが判明した。この影響については、2016年6月から10月にかけて実施されるプログラムの中間評価を通じて、正式に文書化される予定である。

5) このプロジェクトの次の段階

Pescadero プログラムによって、CSO が新しい組織の能力を獲得するための固有な機会が生じた。また、このプログラムは、地域内の CSO にとって、地域内での対話、知識および経験の交換、相互支援の提供、協力の推進のためのフォーラムにもなった。プログラムが後半に進むにつれて、今日までに構築された信頼とコミュニティ意識は、メキシコ北西部の地域全体で、海洋保護に関する協力と活動を推進するために、さらに強化されるであろう。

<http://www.programapescadero.org/> (スペイン語)

地図：Pescadero プログラムに参加している CSO の拠点





Pescadero プログラム研修に参加している
CSO のグループ



メキシコ北西部からの自然保護リーダー